



●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●

囲碁 1000 面打ち大会

(公財)日本植物調節剤研究協会 関東支部長 大嶋保夫

私の住む神奈川県平塚市では、毎年秋に湘南ひらつか囲碁まつり 1000 面打ち大会が開催されます。当日は、目抜き通りに碁盤 500 面を並べ、全国から集まった囲碁ファン約千人が、2 回に分けてプロ棋士と対局します。熱戦を見守る観客、トッププロの囲碁教室・サイン会などに参加する人達で大いに賑わいます。

囲碁まつりは、平塚の囲碁道場で多くのプロ棋士を育てた木谷實九段の功績をたたえて始まり、今年で 18 回目になります。木谷實は「新布石」といわれる新しい布石法をみ出すなど、昭和の一時期を風靡した棋士です。傍ら囲碁の普及に努め、多くの内弟子を受け入れ、大竹英雄名誉碁聖ら 50 名を超えるプロ棋士を養成しました。祭りには木谷門下生をはじめ、日本棋院所属のプロ棋士約 80 名が集結するので、テレビでお馴染みの棋士とも対局できます。

我が家には碁石があったので、私は子供の頃は五目並べをしていました。囲碁は大学時代に覚え、就職してからは誘われるまま、雨天の日の昼休みに打っていました。最近 20 年は遠ざかっていましたが、時間に余裕ができたので、1000 面打ち大会に参加したいと思い、また始めたところです。

囲碁は 2 人のプレイヤーが、碁石と呼ばれる白黒の石を、盤上に置いていき、自分の石で囲んだ領域の広さを争うゲームです。古代中国が発祥の地とされ、日本では江戸時代に幕府の庇護のもと盛んに行われるようになりました。その後は盤上遊技として広く親しまれるようになり、今では若い人から年配の人まで、幅広い

世代の人々に愛好されています。

日曜日の昼間、NHKテレビで囲碁トーナメントを放送しています。私はソファーに横になって解説者の話を聞いていますが、「新しい布石、最近打たれる布石」という言葉をよく耳にします。最近の棋士はパソコンで膨大な過去のデータを整理し、よく勉強しているとのこと。また対局後には必ず両対局者が感想戦を行って勝因敗因を検討し、互いに棋力の向上に努めているとのこと。そのような弛まぬ努力があって、はじめてプロとして活躍できるのでしょうか。

最近の囲碁の明るい話題としては、テレビアジア選手権において井山裕太本因坊が優勝したことです。大会が始まった 1990 年代前半は日本の棋士が優勝していましたが、その後は韓国、中国に負け続けていました。日本人棋士が国際戦で振るわない原因の一つに国内棋戦は 1～2 日で行われるのに、国際棋戦は 2～3 時間の短時間で行われるという競技時間の違いが挙げられています。国際化が進む中では、国際ルールにも対応できるように努めなければなりません。このことは私たちの仕事でも当てはまると思います。

囲碁は機種やルールが変わらないので、昔覚えたことが通用しそうです。今回、へぼ碁の域を出ない私にとって、プロの棋士と対局しただけでも光栄なことなのに、始めに盤面いっぱい黒石を置いてから打ったといえ・・・頭の体操としてまた始めた囲碁ですが、この上なく幸せな一日を過ごすことができました。